

2023 年度

学校関係者評価報告書

2024 年 7 月



学校法人八文字学園  
専門学校 水戸自動車大学校

## ◆ 2023 年度 学校関係者評価報告書

学校法人八文字学園 専門学校 水戸自動車大学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「2023 年度自己点検評価報告書」(2024 年 3 月作成)を基本とした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

今後も、この評価結果を活かし、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

### 1. 対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

### 2. 実施方法

- (1) 学内に「学校関係者評価委員会」を設置し、委員会を中心に教職員一同により評価を行っております。  
委員会構成：  
委員長 学校長  
委員 教務部、就職部、外部委員
- (2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行っています。
- (3) 評価は、年一回年度末に行います。
- (4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

### 3. 学校関係者評価委員

氏 名	所 属
伊達 延之	茨城ダイハツ販売株式会社 取締役 管理本部長
大島 弘	株式会社 スズキ自販茨城 常務執行役員 サービス部品本部長
古賀 一光 ※1	茨城トヨタ自動車株式会社 サービス部 技術グループ 係長
木村 俊宏	株式会社 茨日ホールディング 人財開発部 教育 Gr/監査 Gr 係長
高野 裕	茨城トヨペット株式会社 管理部 人事課 課長
村松 弘一	株式会社 北関東マツダ 管理部 人財開発グループ グループ長

※1 茨城トヨタ自動車株式会社 山崎智弘委員の代理

#### 4. 学校関係者評価の項目

学校関係者評価は、次の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

#### 5. 評価項目に対する評価

評価は 4～1 の点数で記載します（少数点表示は評価者の平均点を記載）

評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

### ■基準1 教育理念・目的

総合評価 3.83

ア	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
イ	学校における職業教育の特色を示しているか
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
エ	学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
オ	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

- ・整備士としての知識や技術はもちろんのこと、社会人基礎力の修得にも力を入れた教育が評価できる。今後も社会の変化に柔軟に対応できる整備士の育成に努めて頂きたい。
- ・教育理念・目的は概ね適切と思われます。

### ■基準2 学校運営

総合評価 3.83

ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか
ウ	運営組織や意識決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか
オ	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか

カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
キ	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか

- ・社会の情勢や本校教育を取り巻く諸情勢を踏まえて運営方針が策定されている。
- ・情報システム化が進んでいるが、今後とも継続して効率化を図って欲しい。
- ・年度計画は概ね適切に行われたと思われる。

### ■基準3 教育活動

総合評価 3.17

ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
キ	授業評価の実施・評価体制はあるか
ク	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
ケ	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
コ	資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
シ	関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
ス	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか
セ	職員の能力開発のための研修等が行われているか

- ・学校教育方針に基づき、実習を重視しつつ講義や実習が系統的に学べるようカリキュラムが編成されている。
- ・知識と技術が連動した授業で理解を深めており充実している。新しい技術仕様の車が次々と生まれているので、今後も新技術や業界のニーズを取り入れた指導をして欲しい。
- ・自動車業界全体での人材不足の影響による教育問題の改善を期待する。
- ・人材の確保は、業界だけでなく日本国内の課題であるため、難しい状況であると考えます。
- ・教員の確保は難しい課題だと思っております。産学連携等お手伝いできる部分がありましたらお声がけください。

**■基準4 学修成果**
**総合評価 3.50**

ア	就職率の向上が図られているか
イ	資格取得率の向上が図られているか
ウ	退学率の低減が図られているか
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

- ・進路指導者と担任が連携して、学生一人ひとりの適性を生かした就職支援を努めているのは大変よいことだと思う。
- ・学科ごとに目指す資格を掲げ、入学時から計画的な指導を行い、高い合格率を毎年継続している点が評価できる。
- ・退学者の増加対策として、学校・学生間の面接の機会を増やす、カウンセリングを行う等、取り組みの改善を期待する。
- ・退学理由は様々だが、経済的理由も多く、学校の対応で解消できることもあると考える。
- ・将来のキャリアについては、学校だけでなく企業も参画していくのが良いと思う。

**■基準5 学生支援**
**総合評価 3.50**

ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
イ	学生相談に関する体制は整備されているか
ウ	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか
カ	学生の生活環境への支援は行われているか
キ	保護者と適切に連携しているか
ク	卒業生への支援体制はあるか
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

- ・学生相談については担任・副担任だけではなく、スクールカウンセラーによるカウンセリングを導入するなど、学生が相談しやすい環境を整えていると思う。
- ・特待生制度・一人暮らし支援制度・定期券半額助成制度、学生支援センターによる個別相談等、様々な側面から経済的に支援する制度は充実していると思われる。
- ・令和2年度より実施されている高等教育の修学支援制度の支援措置対象校となっている。また、日本学生支援機構奨学金や各種の公的奨学金・民間奨学金の積極的な紹介や円滑な事務を心がけて学生を支援している点がよいと思う。
- ・企業が実施する企業特待生（奨学金）制度をさらに学生に周知して頂き、また、企業特待生制度への意見や要望があれば教えて欲しい。
- ・学生・保護者への支援を常に行い、問題改善に期待する。

- ・学生にとって重要な学校生活支援、進路支援はできていると考える。

## ■基準6 教育環境

総合評価 3.67

ア	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか
ウ	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか
エ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか

- ・実習車輛は各種メーカーの自動車・二輪・大型車まで多様な車種を導入。また、地元企業からの最新車輛の寄贈も多く、最新技術の実車を使い授業を行っている。
- ・地震などの天災や無差別に狙った犯罪等が増えているので、危機管理マニュアルの内容を充実させ、緊急時に迅速で適切な対応ができるよう努めて欲しい。
- ・校舎等の老朽化については、外観もイメージアップには重要と思われるので、今後の改善に期待する。

## ■基準7 学生の受け入れ募集

総合評価 3.67

ア	学生募集活動は、適正に行われているか
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
ウ	学納金は妥当なものとなっているか

- ・「入学案内」や「ホームページ」、「学校見学会」、「体験入学会」、「オープンキャンパス」などで、学生から選ばれる活動を模索しながらの努力を継続して欲しい。
- ・整備に興味を持つ人を作ることは、業界全体で盛り上げていきたいと思う（企業で活躍している人の情報をもっと多くの人に知っていただく等）。
- ・学生・保護者に向けたイベント・活動に期待する。
- ・時代に合わせた対策は実施されている。少子化・人口減少が進む中対応はできている。
- ・各学科の学納金は、他校の状況、教育内容や教育環境に照らして妥当であると思われる。

## ■基準8 財務

総合評価 3.67

ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか
エ	財務情報公開の体制整備はできているか

- ・学校の中長期的経営基盤の安定化に努めていると思うが、今後、より入学者数の見通しが立ちにくくなると思われるので学生の安定確保にも努めて欲しい。

- ・毎年理事会において監査が行われ、適正な運用がなされている。
- ・財務に関する教員の関心を意識付けができるよう対策を期待する。

### ■基準 9 法令等の遵守

総合評価 3.83

ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
エ	自己評価結果を公開しているか

- ・法令及び設置基準を遵守し、適正な運営がなされており、コンプライアンスの問題も感じられない。
- ・毎年自己評価を実施し、課題等を明らかにするとともに問題点の改善に取り組んでいる。
- ・ITリテラシーに関する授業を実施するべきではないか。

### ■基準 10 社会貢献・地域貢献

総合評価 3.50

ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

- ・授業や試験が目白押しの中でボランティア活動として、清掃活動を継続しておこなっているのは評価できる。
- ・さまざまなイベント等で、地域活性化を期待する。

### ■基準 11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

---

学校法人八文字学園 専門学校 水戸自動車大学校

〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-22

---